



2019.9

八十二レポート

HACHIJUNI REPORT

[営業の中間ご報告]

 **八十二銀行**

ごあいさつ



取締役会長 山浦 愛幸



取締役頭取 湯本 昭一

平素より八十二銀行をご利用、お引立ていただき、誠にありがとうございます。この度の令和元年台風第19号により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当行は1931年(昭和6年)の創立以来、地域の金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえにお客さまや株主の皆様、そして地域の皆様の永年にわたるご支援の賜物と深く感謝しております。

当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2019年9月期の業績、営業内容をできるだけわかりやすくご紹介するため「八十二レポート2019.9」を作成しました。皆様のご参考になれば幸いです。

わが国経済は米中貿易摩擦の影響による中国など海外景気の減速に伴い輸出が低迷し、生産面に弱さがみられた一方、個人消費や設備投資が国内景気を下支えたことから全体として緩やかな回復が続きました。長野県経済においても、生産面は海外需要の鈍化を受けて弱含みましたが、個人消費は堅調な雇用所得環境を背景に、自動車販売などが前年を上回りました。消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響もあり、新設住宅着工戸数も堅調に推移しました。当面、海外情勢や増税後の消費動向により景気の先行きは不透明な状況が続くと思われます。

こうした経済環境のもと、2019年9月期決算における期末の融資残高は過去最高を更新することができました。また事務部門の合理化に取り組みコスト削減面では着実な成果を実現できました。

短期間で劇的に変化する経営環境に対し、第31次長期経営計画では「お客さま利益実現のための“対面営業”の強化・拡大」「“人財”育成投資・活躍機会の拡大」「営業推進態勢・業務プロセス”の変革”」の3つのテーマを掲げています。当行が持続的にお客さまや地域社会の発展に寄与するため、当行自身も未来に向けて変化し、次代を創るべく行動してまいります。

皆様からのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって努力してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。
2019年12月

Profile

名称	株式会社八十二銀行	従業員数	3,217人
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8	資本金	522億円
電話番号	026(227)1182	発行済株式数	511,103千株
創立	1931年8月1日	総資産	10兆6,726億円
拠点	国内 151店舗 本支店142(長野県内122) 出張所 9(長野県内 9) 店舗外現金自動設備 225ヵ所 海外 支店1(香港) 駐在員事務所 4 (大連、上海、バンコク、シンガポール)	純資産	7,366億円
		預金残高	6兆7,386億円
		貸出金残高	5兆3,725億円
		総自己資本比率 (国際統一基準)	連結 20.71% 単体 19.85%
			(2019年9月30日現在)

Contents

ごあいさつ	①
経営方針	②
第31次長期経営計画の取組み	③
CSR(企業の社会的責任)への取組み	④
法人のお客さまへ	⑤
個人のお客さまへ	⑦
業績ハイライト	⑨
経営の健全性	⑩
営業拠点のご案内	⑫
連結中間決算の状況	⑬
単体中間決算の状況	⑭
株式のご案内	⑮

注:本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

経営方針

経営理念

『健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する』

八十二銀行のありたい姿 (長期ビジョン)

▶『日本の真ん中で輝いている銀行』

経済のグローバル化・高度化への対応、八十二銀行ならではの強みの確立、コンプライアンス・内部統制の強化など経営の質の向上、職員がいきいきと輝く組織づくりなど、総合的な企業価値の向上に取り組み、永続的に発展する銀行を目指します。

▶『8つの輝き』

八十二銀行の“輝く姿”を、お客さま、地域、財務、組織風土などの視点から捉え、8つの輝きとして掲げます。

- 「小気味よいお客さま対応」
- 「地域・県民のよりどころ」
- 「利用者の立場に立った業務運営」
- 「高いコンプライアンス意識」
- 八十二銀行 8つの輝き
- 「職員一人一人がいきいきはつらつ 責任を持ちスピーディに行動」
- 「先進的で誇れるシステム」
- 「健全そのもの、コンスタントで確実な収益体質」
- 「確実・効率的で安心な 事務・システム、事務態勢」

第31次長期経営計画

(2018年4月～2021年3月)

『変化に挑み、次代を創る』

お客さま利益実現のための
“対面営業”の強化・拡大

“人財”育成投資・
活躍機会の拡大

“営業推進態勢・
業務プロセス”の変革

経営目標

親会社株主に帰属する
当期純利益(2020年度) **250億円**

連単倍率
(2020年度) **1.25倍**

配当性向
(連結/毎年度) **30%以上**

※第27次長期経営計画に基づき展開された「長期人財育成プラン」で「八十二銀行に働くすべての人は、“かけがえのない財産=人財”」と定めた

第31次長期経営計画の取組み

IT技術の進化などにより、お客さまのニーズ・ライフスタイルは短期間で劇的に変化しています。このような経営環境の変化に果敢に挑むべく、第31次長期経営計画「変化に挑み、次代を創る」を策定しました。「お客さま利益実現のための“対面営業”の強化・拡大」「“人財”育成投資・活躍機会の拡大」「“営業推進態勢・業務プロセス”の変革」の3つのテーマを通じ、持続的に発展する銀行を目指します。

第31次長期経営計画 『変化に挑み、次代を創る』 (2018年4月～2021年3月)

お客さま利益実現のための“対面営業”の強化・拡大

◆ 課題解決提案

お客さまとより多くの接点を持つ対面営業の「量」の確保により、信頼関係を構築し、事業性評価などを通じて課題の共有を図る取組みを強化しています。

当行グループ会社を含めたノウハウ・機能の提供、外部専門家など幅広いネットワークの活用により課題解決をサポートします。また八十二「地方創生応援私募債」や「震災時元本免除特約」などお客さまに合った金融サービスを提供しています。こうした取組みにより、対面営業の「質」の向上を目指しています。



“人財”育成投資・活躍機会の拡大

◆ 多様な人財が活躍できる組織

2019年8月、託児送迎を抱える職員を対象に報告書作成など一部業務の「在宅勤務」運用を開始しました。時間と場所を柔軟にする働き方で、能力発揮機会の拡大と、より責任ある仕事を通じたキャリア形成を支援しています。

また、集合研修とe-ラーニングの拡充により、職員の能力伸長支援の充実を図っています。業務スキルと提案力の向上により、“対面営業”の強化につなげていきます。



“営業推進態勢・業務プロセス”の変革

◆ 業務合理化と生産性向上(業務改革プロジェクト)

2018年4月から活動する業務改革プロジェクトでは、営業店業務を中心としたBPRに取り組み、2019年9月末までに470案件、年間約20.4万時間(約116人分)相当の業務量を削減しました。2019年9月からは本部業務も対象として加え、本部担当者が自らの業務をRPAで自動化する取組みも開始し、業務プロセスの変革を進めています。

RPAによる業務削減効果

2020年3月末まで(計画)
20業務 20,000時間/年 (累計)

2018年9月末まで
6業務 4,250時間/年

CSR(企業の社会的責任)への取組み

当行は、「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、役職員一人ひとりがお客さま・地域社会の発展に貢献し、企業の社会的責任を果たしていくことが使命であると考えています。主体的に地域の課題解決に取り組み、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めていきます。

▶ 生物多様性保全活動



戸隠牧場
ハルザキヤマガラシの駆除

従来から実施してきた長野県内の森林を整備する「八十二の森」活動、「特定外来生物アレチウリ」の駆除活動に加え、今年度は新たに「外来生物ハルザキヤマガラシ」の駆除活動を実施しました。駆除活動後にはハルザキヤマガラシを食べ、楽しみながら外来生物に関する理解向上を図りました。

2019年度上期は、生物多様性保全活動で延べ718名の役職員が参加しました。

▶ 金融経済教育



地域貢献の一環として、高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」長野大会の開催や、小・中・高等学校の児童・生徒の職業体験の受け入れなど、多角的に金融経済教育に取り組んでいます。

職業体験では、紙幣の数え方や加算機の使い方などの実習のほか、金融経済の仕組みや銀行の社会的役割についての講義を行い、次世代を担う子ども達の金融リテラシー向上に努めています。

地域活力創造に向けた取組み

マイカーローン(エコ型)に基づく寄付



2019年5月、2018年度のマイカーローン(エコ型)の融資残高に基づき寄付を行ないました。本ローンは、エコカー購入者を対象としたマイカーローンの初年度平均残高の0.1%相当額を一般社団法人長野県環境保全協会に寄付する商品です。



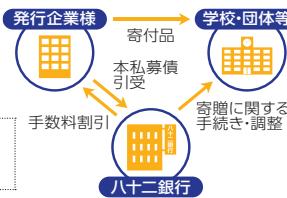
当行はこれからも「八十二銀行グループ SDGs宣言」に基づき、環境負荷の低減につながる商品・機能・サービスのご提供を通じて、美しい信州の自然を未来へとつなぐ取組みを進め、環境保全活動に貢献していきます。

地方創生応援私募債



〈八十二「地方創生応援私募債」〉とは、お客さまの資金調達と地域貢献を応援するため、私募債発行に際し、当行がお客さまから受け取る引受手数料の一部を割引し、お客さまがこれらを活用して地域の学校や社会福祉団体等に学術用品などを寄贈する商品です。当行は発行企業様とともに、地域の将来を担う人材育成や社会福祉の向上等の支援を通じて地域活力の創造を目指していきます。

2019年度上期引受実績
113件 / 68億円



法人のお客さまへ

創業・開業期

起業・創業支援

起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーに支援しています。

「信州ベンチャーコンテスト2019」の開催により長野県内の創業気運を醸成するとともに、YouTube、GoogleにてSNS等の広告発信をしています。今後も、長野県内での創業を希望するお客さまを幅広く支援していきます。



起業・創業支援先数 207先 (2019年度上期)

成長・安定・成熟期

地域産業成長支援

ビジネスマッチング、商談会等を通じ、お客さまの販路拡大や経営の効率化を支援しています。人手不足が深刻化する中、グループ会社の八十二スタッフサービスと連携し、人材紹介にも取り組んでいます。「初めての外国人材活用セミナー」を開催し、24社に外国人材の活用実例や制度改正の内容など、幅広い情報提供を行いました。



ビジネスマッチング成約件数 2,069件 (2019年度上期)

経営改善・事業再生期

経営改善・事業再生支援

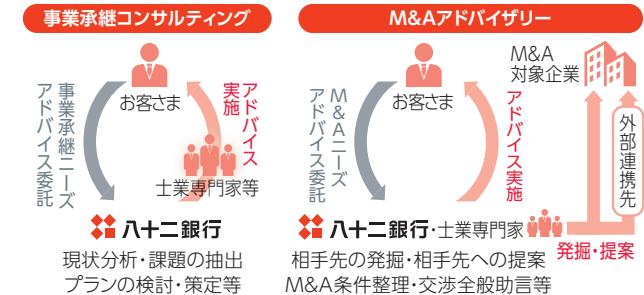
厳しい経営環境に直面するお客さまに対して、営業店と本部が一体となり、経営改善計画の策定と実行を積極的に支援しています。

また、当行グループ会社および外部連携機関との幅広いネットワークを活用し、お客さまの経営支援、経営課題の解決に取り組んでいます。



事業承継・M&A

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、一段と高まるM&Aと事業承継ニーズにお応えするため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。



グローバル化への対応

海外ビジネスのサポート

貿易実務のアドバイスから為替リスクヘッジや海外進出のご相談まで、地銀有数の海外拠点網とネットワークを活用し、お客さまの海外ビジネスをサポートします。

国内の支店および香港支店では、お客さまの海外現地法人に向けた直接融資(クロスボーダー融資)にも対応しています。



アジア各国で最新情報を提供

アジア各国でセミナーや交流会を開催し、現地の最新情報の提供や販路開拓支援に取り組んでいます。

香港では地方銀行16行の共催により、中国経済動向の情報提供および参加企業間のネットワーク拡大を目的としたビジネス交流会を開催しました。



〈主な取組み〉		
開催年月	開催地	開催内容
2019年5月	タイ・バンコク	タイ日系企業ビジネス交流会
6月	中国・大連	2019大連・地方銀行合同企業交流会
6月	香港	香港・華南地区日系企業ビジネス交流会
6月	長野市	中小・中堅企業海外展開セミナー
6月	タイ・バンコク	Mfairバンコク2019ものづくり商談会
7月	松本市	外国人材活用セミナー
7月	中国・上海/蘇州/大連/武漢	中国主要都市ビジネスセミナー
7月	長野市、佐久市	長野県の中小企業向けセミナー
9月	中国・上海	上海ビジネス交流会実務セミナー

個人のお客さまへ

お客さま一人ひとりのライフステージに合わせた商品・サービスのご提供を通じ、生涯にわたる良きパートナーを目指します。

かりる

住宅関連ローン

マイホームの新規購入や増改築等、住まいづくりをお手伝いしています。

万が一に備え、手厚い保障でご家族を守る疾病保障が付加された住宅ローンや、共働き世帯のための「夫婦連帯債務住宅ローン」、長野県への移住を応援する「信州☆移住特別ローン」等、豊富な品揃えでお客さまのさまざまなニーズにお応えしています。

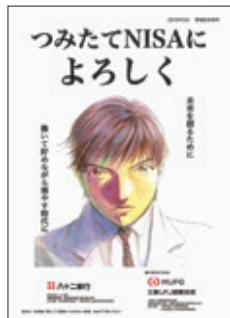


ふやす・ためる

つみたてNISA

「つみたてNISA」は、投資経験のない方も少額から始めていただける資産形成に有効な制度です。

当行では、制度の特性を勘案して、購入時手数料無料かつ低コストで運用できる商品を8ファンド(2019年9月末時点)をご用意し、幅広く制度のご案内をしています。



そなえる

相続個別相談会

「相続個別相談会」を各地で開催しています。相談会では専門家を相談員に招き、お客さまの相続に関するお悩みを個別にご相談いただける機会を提供しています。

2019年度上期は県内4店舗で開催しました。

相続業務に精通する専門家と連携し、お客さまの相続に関するニーズに幅広くお応えしています。



便利につかう

82Debit (JCB)

82Debit (JCB)は世界中の国と地域にあるJCB加盟店で利用可能なデビットカードです。ご利用代金は82Debit (JCB)のお支払い口座から即座に引落しを行うため、使いすぎを防止し、安心してお買い物をお楽しみいただけます。

多機能カード (HaLuCa) も含め、お客さまの多様なキャッシュレスニーズにお応えしています。

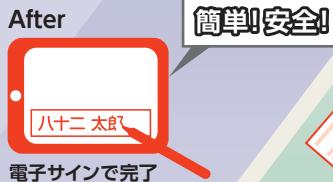


～もっと便利に! もっと使いやすく!～

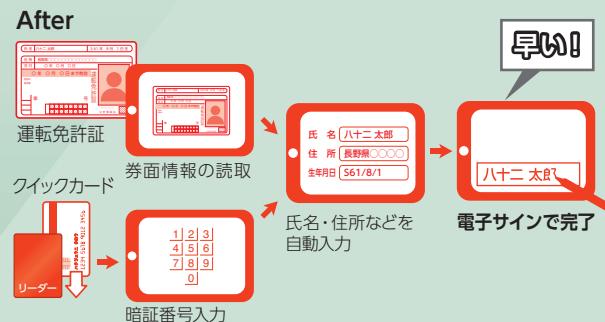
タブレット端末を利用したペーパーレス化の拡大

お客さまとの物品授受と、個人のお客さまの口座開設や住所変更などのお手続き(受付～事務処理)を、タブレット端末を利用してペーパーレス化しました。お客さまにより早く・簡単・安全にお手続きいただけるようになりました。

物品の授受



口座開設などのお手続き



スマートフォンアプリでもっと便利に

非対面ビジネスの中核チャネルであるスマートフォン向けサービスを強化し、お客さまの利便性向上を図りました。アプリ導入により、お客さまとの新たな接点を創出していきます。

八十二銀行アプリ

いつでもどこでも、簡単に残高や入出金明細をご確認いただけます。インターネットバンキングにも生体認証でログオンいただけます。



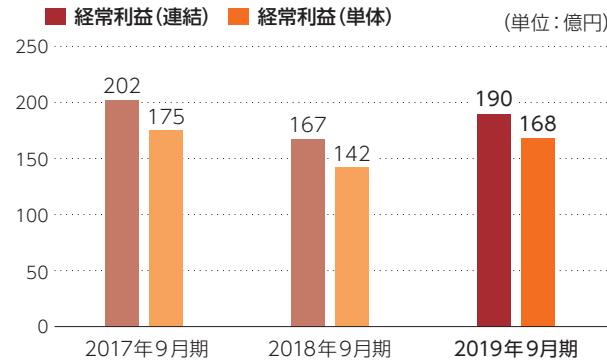
アプリ型トークン

インターネットバンキングで振込や料金払込(ページ)の取引時に入力いただく「ワンタイムパスワード」をアプリでご確認いただけます。



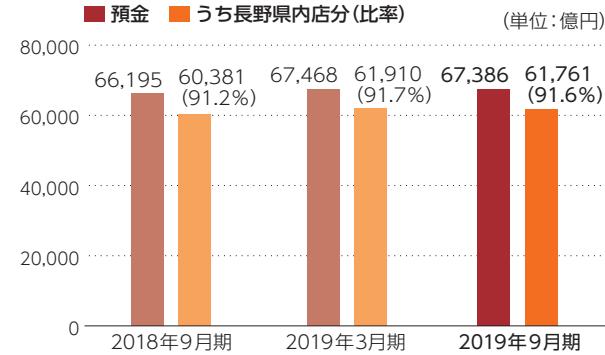
業績ハイライト

● 経常利益の状況



金銭の信託運用による利益が減少したものの、実質業務純益が増加したことから、単体経常利益は前年同期比25億円増加しました。

● 預金の状況



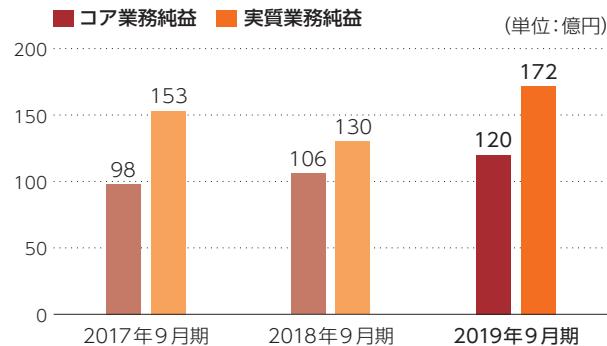
法人、金融、個人はいずれも増加しましたが、公金の減少により、前期末比82億円減少し6兆7,386億円となりました。うち、長野県内店預金は6兆1,761億円となりました。

● 有価証券残高の状況



地方債・社債などの増加により前期末比1,758億円増加し、2兆9,473億円となりました。

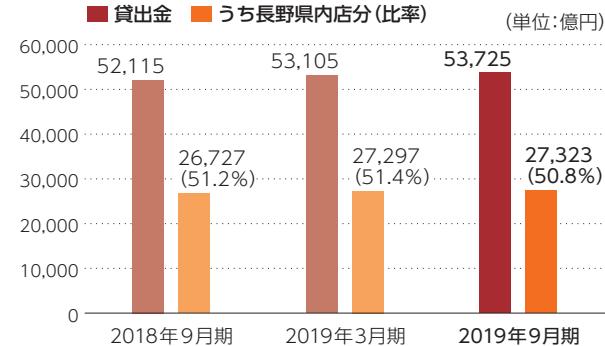
● コア業務純益・実質業務純益の状況



有価証券利息配当金の増加や経費の減少などによりコア業務純益は前年同期比14億円、さらに債券売却などによる利益の増加により実質業務純益は同42億円増加しました。

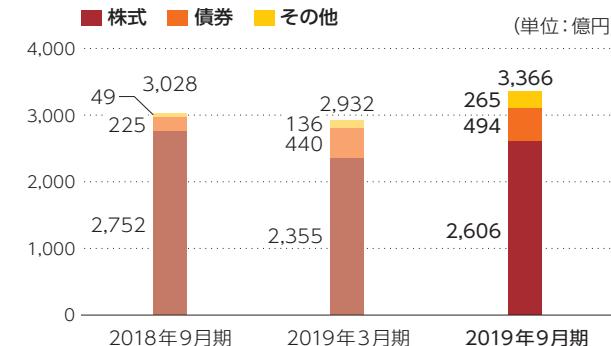
[実質業務純益] 一般企業の営業利益に準じた銀行本来業務の利益
[コア業務純益] 実質業務純益から債券売却などによる利益を除いた利益

● 貸出金の状況



事業性・消費性資金いずれも増加し、前期末比619億円増加の5兆3,725億円となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆7,323億円となりました。

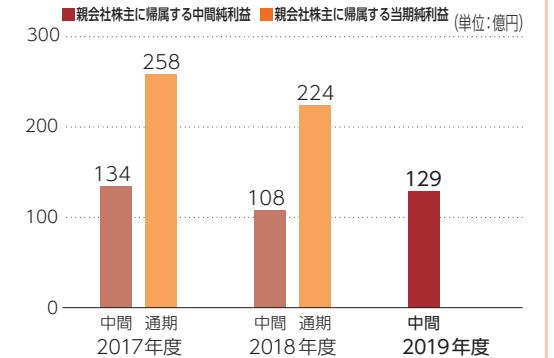
● 有価証券評価損益の状況



株価の上昇により株式評価益が増加したことに加え、金利の低下等による債券評価益の増加もあり前期末比434億円増加し、3,366億円となりました。

目標とする経営指標(2021年3月期)

● 親会社株主に帰属する当期純利益 250億円



● 連単倍率(純利益) 1.25倍

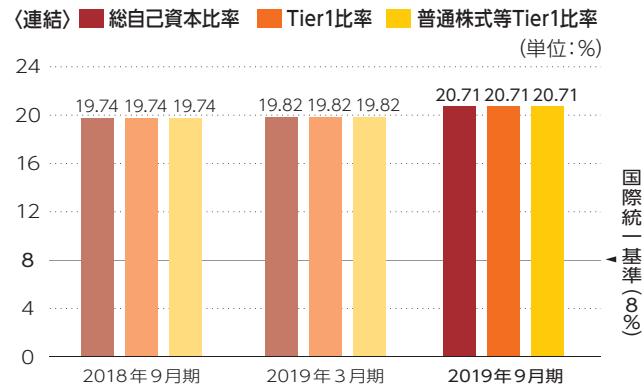


[連単倍率] 親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率

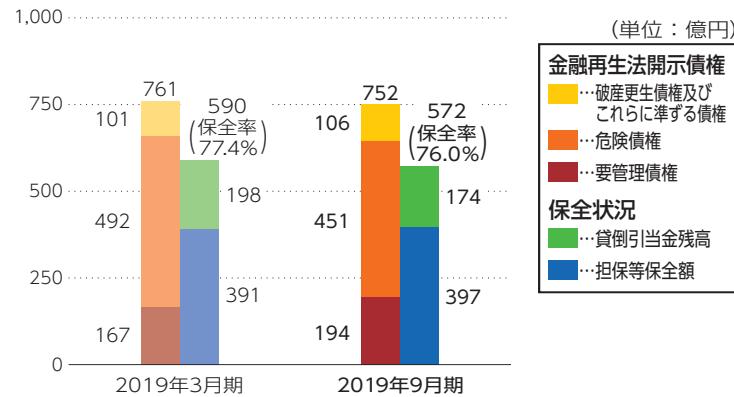
経営の健全性

● 連結自己資本比率 (国際統一基準) の状況

自己資本比率は金融機関の健全性を測る指標のひとつです。バーゼルⅢに基づく自己資本比率規制 (国際統一基準) では、総自己資本比率が8%以上必要とされています。当行の総自己資本比率 (2019年9月期) は、連結で20.71%となり、規制水準である8%を大きく上回っています。



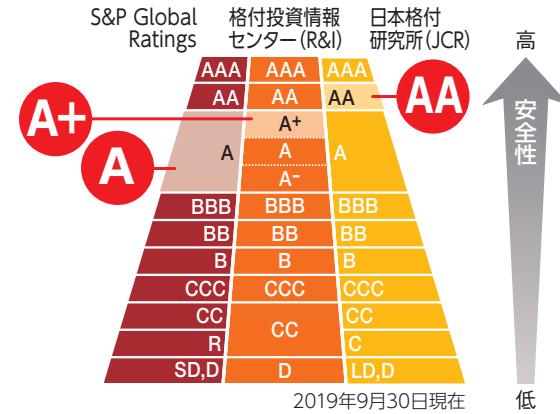
● 金融再生法開示債権と保全状況



(注) 1. 金融再生法開示債権は対象が貸出金のほか、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、保証付私募債となっています。なお、部分直接償却は実施していません。
2. 上記の開示額は、差入れられた担保などによる回収を考慮していませんので、当行の将来の損失をそのまま表すものではありません。

● 格付

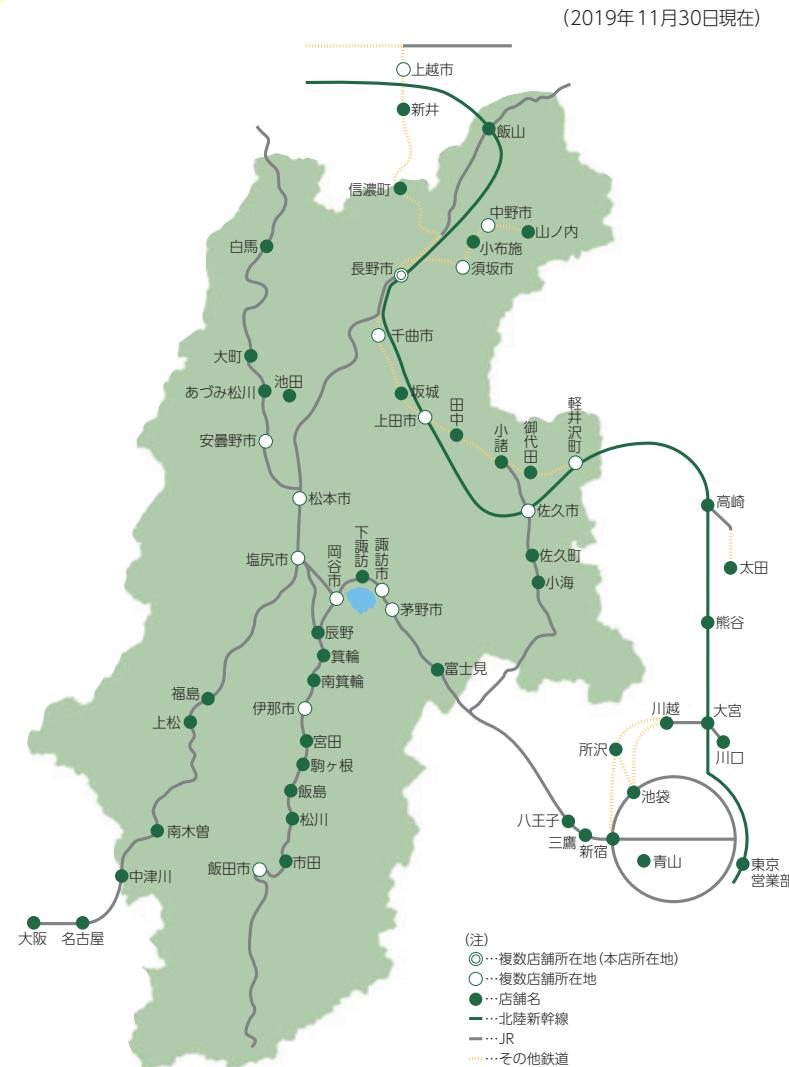
当行は長期格付について、S&P Global Ratingsから「A」(金融債務を履行する能力は高い)を、格付投資情報センター(R&I)から「A+」(信用力は高く部分的に優れた要素がある)を、日本格付研究所(JCR)から「AA」(債務履行の確実性は非常に高い)の格付を取得しており、当行に対する高い評価を示しています。



	2019年3月期	2019年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	101 (0.18%)	106 (0.19%)
危険債権	492 (0.91%)	451 (0.82%)
要管理債権	167 (0.31%)	194 (0.35%)
小計	761 (1.41%)	752 (1.37%)
正常債権	53,156	53,814
総与信残高	53,918	54,567

()内は、総与信残高に占める比率

営業拠点のご案内



複数店舗所在地一覧

- ◎長野市
本店営業部、長野、県庁内、大門町、昭和通営業部 (82プラザ)
長野駅前、長野東、七瀬、吉田 (三才 [出])、長野南、長野北
東和田、長野市役所、浅川若槻 (82プラザ)、朝陽、風間、安茂里
豊野、新町、若穂、南長池、更北、川中島、松代、篠ノ井
今井 (82プラザ)
- 須坂市
須坂 (須坂駅前)、須坂市役所 [出]
- 中野市
中野 (中野西)
- 千曲市
屋代、稲荷山、上山田、戸倉
- 上田市
上田、上田市役所 [出]、花園 [出]、上田東 (82プラザ)、丸子
三好町 (川西)、塩田、神科 (真田)
- 軽井沢町
中軽井沢、軽井沢
- 佐久市
岩村田、佐久市役所 [出]、野沢 (中込)、佐久中央 (82プラザ)
臼田、望月
- 松本市
松本営業部 (清水 [出])、松本市役所 [出]、松本駅前、深志
南松本 (平田・82プラザ)、村井、寿、信州大学前、惣社、西松本
笹賀、つかま、浅間温泉、波田、梓川、ローンプラザ松本
- 安曇野市
明科、三郷、豊科、穂高、ローンプラザ安曇野
- 塩尻市
塩尻、塩尻西、広丘 (82プラザ)
- 岡谷市
岡谷 (82プラザ)、岡谷市役所 [出]、長地
- 諏訪市
諏訪 (上諏訪駅前)、諏訪南 (82プラザ)
- 茅野市
茅野、茅野駅前
- 伊那市
伊那、伊那市役所 [出]、伊那市駅前、伊那北、高遠
ローンプラザ伊那
- 飯田市
飯田、飯田駅前、伝馬町 (82プラザ)、八幡 (飯田東)、天竜峡
上郷、鼎、伊賀良
- 上越市
高田、直江津、潟町、ローンプラザ上越

海外拠点

香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所

株式のご案内

- 証券コード 8359
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 単元未満株式の買取・買増制度 単元未満株式(1~99株)について、買取制度および買増制度を実施しております。単元未満株式が証券会社等の口座に登録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、また、特別口座に登録されている場合は右記までお問い合わせください。
- 配当金 期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、それぞれ期末配当金・中間配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
- 基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日
中間配当金:9月30日
そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告いたします。
- 公告方法 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
お問い合わせ先 郵便物送付先	[郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お電話でのお問い合わせ・ご相談

八十二のハローはちに
電話 **0120-82-8682** (通話料無料) 音声ガイダンスにより操作してください。
★携帯電話からもご利用いただけます。

- ◆商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談
サービス内容により受付時間が異なります。
- ◆当行へのご意見・ご要望・苦情(お客さま相談室)
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
- ◆金融円滑化相談時の苦情(金融円滑化苦情窓口)
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口(金融分野における裁判外紛争解決制度)

■全国銀行協会相談室

電話 0570-017109 または 03-5252-3772
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:00

■証券・金融商品あっせん相談センター

電話 0120-64-5005
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:00

■信託協会信託相談所

電話 0120-817-335 または 03-6206-3988
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:15



2019年12月発行/編集:八十二銀行 企画部
〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話 (026) 227-1182
<https://www.82bank.co.jp/>

